

平成15年度石油ガス販売事業者構造改善支援事業  
[IT化モデルの有効性調査]に関する調査結果概要

1. 実施者

社団法人全国エルピーガス卸売協会九州地方本部

2. 調査概要

(1) 目的

LPガス販売事業者の経営・流通の合理化を図る手段の一つとしてIT化に着目し、九州管内においてIT化モデルを設定し、その有効性を調査するとともに、構造改善に資する将来的な可能性を調査することを目的とするもの。

(2) 実施方法

IT化実態調査

当協会会員を対象にIT化の実態に関する調査票を郵送し、記入後返送してもらうメールサーベイによるアンケート調査とした。

IT化有効性調査

当協会ホームページを開設した後、九州各県8会場にてIT化セミナーを開催し、同ホームページの有効利用の方法等を研修したうえで、IT化の有効性に関する調査票を郵送し、記入後返送してもらうメールサーベイ方式によるアンケート調査を実施した。

3. 調査結果概要

実態調査については、インターネット等の環境整備を積極的に行っているものの、活用方法等が確立されておらず、本社・拠点間の格差もみられた。

有効性調査に関しては、当協会ホームページのサイト情報について、多くの回答者から「望まれる情報」として認識され、インターネット、Eメール等による情報提供の有効性が確認されるとともに、更なる情報提供の拡充が期待される結果となった。

4. 調査結果から得られた効果

IT化（ホームページ開設及びEメール配信）による効果

マーケット情報、行政情報、保安情報等の情報提供の拡充

情報の迅速化による即時性・確実性の向上

情報の共有化・普遍化・蓄積による会員意識の高揚

通信費等のコストダウン

消費者へのLPガスのPR

5. 調査結果の今後の活用、調査結果を踏まえた今後の取り組み

当協会のホームページのサイトを活用して会員事業者に対し、更なる情報（マーケット情報・行政情報・保安情報・エネルギー問題等）提供の強化を図りたい。また、同サイトのアンケート調査機能を利用して、消費者ニーズを把握し、その情報を共有化することで、新たな事業展開に生かすとともに、消費者に対するLPガス情報を提供して、LPガスの良さをアピールしていきたい。

6. 補助金確定額

7,096,566円